



株式会社マコメ研究所

環境活動レポート

対象期間 2025年度(2024年12月～2025年11月)

目次

1. 事業の規模	-1-
2. 環境への負荷の状況(取りまとめ表)	-2-
3. 指標毎の取りまとめ	-3-
3-① 温室効果ガス排出量	-3-
3-② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	-4-
3-③ 総排水量及び水使用量	-5-
3-③-1 総排水量	-5-
3-③-2 水使用量	-5-
3-④ P R T R化学物質使用量	-6-
3-⑤ エネルギー使用量(MJ)	-7-
4. 代表者による全体の評価と見直しの結果	-8-

1. 事業の規模

活動規模	単位	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	百万円	1,142	1,115	1,161
従業員	人	96	94	96
床面積	m2	3,521.5	3,521.5	3,521.5

環境管理責任者 環境推進委員会
連絡先 〒399-4601
長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪10800-11
TEL: 0265-79-8154 FAX: 0265-79-8519

2. 環境への負荷の状況(取りまとめ表)

・本社、伊那工場、南原工場

環境への負荷		単位	2023年度	2024年度	2025年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	116,349.2	113,789.9	111,710.6
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物 最終処分量	t	3.030	2.381	2.508
	産業廃棄物 最終処分量	t	7.591	8.811	10.251
③-1 総排水量	下水道	m3	595.0	603.0	609.0
③-2 水使用量	上水	m3	595.0	610.0	617.0
④ 化学物質使用量	使用量	kg	85.0	85.0	85.0
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	2,010,362.8	1,970,551.3	2,003,530.9
	化石燃料	MJ	506,264.4	402,014.4	424,593.3

・全営業所(東京支社、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、九州出張所、東北出張所)

環境への負荷		単位	2023年度	2024年度	2025年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	45,680.5	41,730.3	37,607.3
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物 最終処分量	t	0.461	0.516	0.534
	産業廃棄物 最終処分量	t	0.080	0.074	0.052
③-1 総排水量	下水道	m3			
③-2 水使用量	上水	m3			
④ 化学物質使用量	使用量	kg			
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	510,530.9	469,048.3	487,400.9
	化石燃料	MJ	358,126.3	299,059.2	254,685.4

※共用施設のため③は算出していません。

※営業所では生産活動を行っていないため④は算出していません。

3. 指標毎の取りまとめ

3-① 温室効果ガス排出量(二酸化炭素排出量のみ掲載)

・ 本社、伊那工場、南原工場

		単位	消費量 (A)	排出量 (kg-CO2) (A × B) or (A × B × C)	割合 (%)	※排出係数 (B)		単位発熱量 (C)			
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力		kWh	203818.0	80100.5	71.7%	0.3930	(kg-CO2/kWh)		
		化石燃料	灯油	L	8680.0	21630.0	19.4%	0.0679	(kg-CO2/MJ)	36.7	(MJ/l)
			A重油	L		0.0	0.0%	0.0693	(kg-CO2/MJ)	39.1	(MJ/l)
			都市ガス	Nm3		0.0	0.0%	0.0506	(kg-CO2/MJ)	41.1	(MJ/Nm3)
			液化天然ガス(LNG)	kg		0.0	0.0%	0.0494	(kg-CO2/MJ)	54.5	(MJ/kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg	164.6	494.1	0.4%	0.0598	(kg-CO2/MJ)	50.2	(MJ/kg)
			ガソリン	L	2825.9	6560.7	5.9%	0.0671	(kg-CO2/MJ)	34.6	(MJ/l)
			軽油	L		0.0	0.0%	0.0687	(kg-CO2/MJ)	38.2	(MJ/l)
			化石燃料 小計			28684.7					
		エネルギー消費 計				108785.2					
	産廃	廃油	t	0.2	580.2	0.5%	2900	(kg-CO2/t)			
		廃プラスチック	t	0.9	2345.2	2.1%	2600	(kg-CO2/t)			
		廃棄物焼却処理 計				2925.4					
		二酸化炭素合計				111710.6	100.0%				

・ 全営業所（東京支社、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、九州出張所、東北出張所）

		単位	消費量 (A)	排出量 (kg-CO2) (A × B) or (A × B × C)	割合 (%)	※排出係数 (B)		単位発熱量 (C)			
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力		kWh	49583.0	20485.5	54.5%	下記	(kg-CO2/kWh)		
		化石燃料	灯油	L		0.0	0.0%	0.0679	(kg-CO2/MJ)	36.7	(MJ/l)
			A重油	L		0.0	0.0%	0.0693	(kg-CO2/MJ)	39.1	(MJ/l)
			都市ガス	Nm3		0.0	0.0%	0.0506	(kg-CO2/MJ)	41.1	(MJ/Nm3)
			液化天然ガス(LNG)	kg		0.0	0.0%	0.0494	(kg-CO2/MJ)	54.5	(MJ/kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg		0.0	0.0%	0.0598	(kg-CO2/MJ)	50.2	(MJ/kg)
			ガソリン	L	7360.9	17089.4	45.4%	0.0671	(kg-CO2/MJ)	34.6	(MJ/l)
			軽油	L		0.0	0.0%	0.0687	(kg-CO2/MJ)	38.2	(MJ/l)
			化石燃料 小計			17089.4					
		エネルギー消費 計				37574.9					
	産廃	廃油	t		0.0	0.0%	2900	(kg-CO2/t)			
		廃プラスチック	t	0.01245	32.4	0.1%	2600	(kg-CO2/t)			
		廃棄物焼却処理 計				32.4					
		二酸化炭素合計				37607.3	100.0%				

※電力の排出係数は環境省報道発表資料令和7年事業者別排出係数一覧の実排出係数を使用

本社、伊那工場、南原工場、名古屋営業所（中部電力）：0.000393t-CO2/kWh

東京支社（東京電力）：0.000408t-CO2/kWh

大阪営業所（関西電力）：0.000401t-CO2/kWh

広島営業所（中国電力）：0.000511t-CO2/kWh

九州出張所（九州電力）：0.000402t-CO2/kWh

東北出張所（東北電力）：0.000385t-CO2/kWh

3-② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量

・ 本社、伊那工場、南原工場

		最終処分量(t)
廃棄物排出量	一般廃棄物	新聞紙
		0.000
		段ボール
		1.071
		可燃ごみ
		0.727
	産業廃棄物	その他紙類
		0.710
		一般廃棄物合計
		2.508
		混合
		1.295
		廃プラスチック
		0.902
		粗大ゴミ
		0.000
		蛍光管
		0.000
		特別管理
		0.054
		汚泥
		8.000
		産業廃棄物合計
		10.251

・ 全営業所（東京支社、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、九州出張所、東北出張所）

		最終処分量(t)
廃棄物排出量	一般廃棄物	新聞紙
		0.000
		段ボール
		0.077
		その他紙類
		0.086
	産業廃棄物	プラスチック
		0.020
		その他可燃ごみ
		0.350
		一般廃棄物合計
		0.534
		金属くず
		0.039
		廃プラスチック
		0.013
		粗大ゴミ
		0.000
		産業廃棄物合計
		0.052

3－③ 総排水量及び水使用量

3－③－1 総排水量

・ 本社、伊那工場、南原工場

			単位	実績 (m3)	割合 (%)
総排水量 (m3)	公 共 用 水 域	河川	m3		
		湖沼	m3		
		海域	m3		
		各種水路	m3		
		公共用水域 計	m3		0%
	下水道		m3	609	100%
	総排水量合計			609	100%

3－③－2 水使用量

・ 本社、伊那工場、南原工場

			単位	実績 (m3)	割合 (%)
水使用量 (m3)	上水		m3	617	100%
	工業用水		m3		0%
	地下水		m3		0%
	海水、河川水		m3		0%
	雨水		m3		0%
	水使用量合計		m3	617	100%

3-④ P R T R 化学物質使用量

・ 本社、伊那工場、南原工場

化学物質名	政令番号	CAS No.	使用量 kg	保管量 kg
アクリル酸	4	79-10-7	0.00	0.00
2-アミノエタノール	20	141-43-5	0.06	0.10
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	30	121-65-3, 140-60-3	0.23	0.17
アンチモン及びその化合物	31	1309-64-4他	0.00	0.14
ビスフェノールA	37	80-05-7	0.00	0.01
エチルベンゼン	53	100-41-4	0.15	0.19
キシレン	80	1330-20-7	0.15	0.19
銀	82	7440-22-4	0.19	1.57
クレゾール	86	1319-77-3	0.00	0.00
酢酸ビニル	134	108-05-4	0.00	0.00
N,N-ジメチルデシルアミン=N-オキシド	224	1643-20-5	0.05	0.08
有機スズ化合物	239	企業秘密	0.00	0.00
有機スズ化合物	274	企業秘密	0.00	0.00
□3,5-トリメチルベンゼン	297	108-67-8	0.00	0.01
トルエン	300	108-88-3	0.36	0.99
鉛	304	7439-92-1	0.17	2.49
バナジールアセチルアセトネート	321	3153-26-2	0.01	0.01
フェニレンジアミン	348	108-45-2	0.58	0.29
フェノール	349	108-95-2	0.03	0.02
フタル酸ジ-n-ブチル	354	84-74-2	0.00	0.00
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	355	117-81-7	0.15	0.28
ヘキサン(n-ヘキサン)	392	110-54-3	0.69	0.36
ポリ(オキシエチレン)ニアルキルエーテル	407	2136-70-1他60	0.21	0.09
ホルムアルデヒド	411	特定第1種 50-00-0	0.00	0.00
メタクリル酸	415	79-41-4	0.13	0.13
1-メチル-1-フェニルエチルヒドロペルオキシド	440	80-15-9	0.00	0.00
ヘプタン(n-ヘプタン)	442	142-82-5	0.00	10.00
メチレンビス(4,1-フェニレン)ビスイソシアネート	448	101-68-8	83.06	35.48
リン酸トリトリル	460	1330-78-5	27.37	11.62
リン酸トリフェニル	461	115-86-6	0.00	0.28
アジピン酸ジ(2-エチルヘキシル)	567	103-23-1	0.09	0.05
アルファ-(イソシアナトベンジル)	585	9016-87-9	6.41	0.85
エチレングリコールモノブチルエーテル	594	111-76-2	0.01	0.00
ジエチングリコールモノメチルエーテル	627	111-77-3	0.00	0.00
シクロヘキサン	629	110-82-7	0.00	0.00
炭化ケイ素	667	409-21-2	0.00	0.43
メチルイソブチルケトン	737	108-10-1	0.59	0.33
N-メチル-2-ピロリドン	746	872-50-4	0.22	0.11

集計期間：2025年4月～2026年3月

3-⑤ エネルギー使用量 (MJ)

・ 本社、伊那工場、南原工場

		単位	使用量 消費量	エネルギー 量 (MJ)	割合	単位発熱量		
			(A)	(A×B)	(%)	(B)		
総エネルギー投入量	購入電力(新エネルギー除く)		kWh	203818	2003531	82.5%	9.83	(MJ/kWh)
	化石燃料	灯油	L	8680	318556	13.1%	36.7	(MJ/l)
		A重油	L		0	0.0%	39.1	(MJ/l)
		都市ガス	Nm3		0	0.0%	41.1	(MJ/Nm3)
		液化天然ガス(LNG)	kg		0	0.0%	54.5	(MJ/kg)
		液化石油ガス(LPG)	kg	165	8263	0.3%	50.2	(MJ/kg)
		ガソリン	L	2826	97774	4.0%	34.6	(MJ/l)
		軽油	L		0	0.0%	38.2	(MJ/l)
	化石燃料 計		MJ		424593	17.5%		
	新エネルギー	太陽光	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		太陽熱	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		風力	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		水力	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		燃料電池	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		廃棄物	kWh		0	0.0%	3.6	(MJ/kWh)
		新エネルギー 計		MJ		0	0.0%	
その他	熱供給(蒸気)	MJ		0	0.0%			
	その他 計	MJ		0	0.0%			
エネルギー使用量合計		MJ		2428124	100.0%			

・ 全営業所（東京支社、名古屋営業所、大阪営業所、広島営業所、九州出張所、東北出張所）

		単位	使用量 消費量	エネルギー 量 (MJ)	割合	単位発熱量		
			(A)	(A×B)	(%)	(B)		
総エネルギー投入量	購入電力(新エネルギー除く)		kWh	49583	487401	65.7	9.83	(MJ/kWh)
	化石燃料	灯油	L		0	0.0	36.7	(MJ/l)
		A重油	L		0	0.0	39.1	(MJ/l)
		都市ガス	Nm3		0	0.0	41.1	(MJ/Nm3)
		液化天然ガス(LNG)	kg		0	0.0	54.5	(MJ/kg)
		液化石油ガス(LPG)	kg		0	0.0	50.2	(MJ/kg)
		ガソリン	L	7361	254685	34.3	34.6	(MJ/l)
		軽油	L		0	0.0	38.2	(MJ/l)
	化石燃料 計		MJ		254685	34.3		
	新エネルギー	太陽光	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		太陽熱	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		風力	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		水力	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		燃料電池	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		廃棄物	kWh		0	0.0	3.6	(MJ/kWh)
		新エネルギー 計		MJ		0	0.0	
その他	熱供給(蒸気)	MJ		0	0.0			
	その他 計	MJ		0	0.0			
エネルギー使用量合計		MJ		742086	100.0			

4. 代表者による全体の評価と見直しの結果

2025年度の業績は、経済活動の緩やかな上昇を受け景況も上向き、微増ながら前期を上回る成績となりました。

そんな中、本年度の環境目標はそれぞれの環境数値が前年度比で増加させない事と定め、活動をスタートさせました。

主要項目を見ますと温室効果ガス排出量が前年を下回る数字となりましたが、廃棄物排出量及びエネルギー使用量は増加しました。ただ事業活動が前年に比べ活発であった事を加味すれば、それぞれ抜きん出た数字とは思えず必然的なものと捉えています。

全般を通じ目標達成できなかった項目が出てしまった事は残念ですが、従業員一人一人の環境に対する心掛けや取り組みは以前と変わらず継続されている点は評価しています。

2026年度は地政学リスクや物価高騰による景気低迷が懸念され、事業活動も厳しい状況になる事が予想されます。

企業活動による環境面への影響は避けられませんが、今年度も環境項目の数値が増加しないよう、些細な取り組みにも積極的に働き掛けを行って参ります。

社内活動としましては、勉強会や非常時訓練など環境に対する取り組みも定着してきました。今後もこれらの活動に加え、様々な工夫を提案していくと共に、経営課題とチャンスを明確化し、環境活動等へフィードバックして参ります。

2026年度も環境に関する取り組みを、EMS推進委員会が中心となり進めて参ります。

株式会社 マコメ研究所 代表取締役社長
沖村 文彦